

## 所管施設調査の振り返りについて

### 1 雇用促進住宅

- 冬季間に向け、今後増加が見込まれるニーズへの対応・調整と、第 4 回総務経済常任委員会中の調査で質疑が多かった魅力創造課主管のサテライトオフィス事業(シティブロモーション)への活用の可能性等、今後見込まれる「就労と住まい」のバランスについて委員会として共通認識を持つことと課題の論点整理の必要がある。
- 内装工事の改善点については、町内事業所へこの施設の情報提供を充実した上で、今後の利用状況を注視しながら進める必要があると考える。

### 2 哺育育成施設

- 特にありませんが、適切なタイミングでの(予算決算など)事務事業評価等、委員会内で共通認識を持つ機会を持ちたい。
- 施設整備が完了した状態の中、哺育頭数率を上げる対策により今後の有効活用が必要である。

### 3 北伏古コミュニティセンター

- 旧保育所をリノベーションした施設整備は地域住民の意見を反映した設計となっており、愛着を持たれながら地域コミュニティの核として使用されていくのだと考える。町内にはまだ活用の方向が検討されていない同様の施設があるが、担当課の説明では町外事業者からの引き合いもあるとのことである。町は現在、こうした施設活用についての方針を現在策定中とのことなので、委員会内でもどのように活用されるのが望ましいかなど、一定の共通認識を持つ機会が必要と考える。
- 今回は、北伏古旧保育所を改修し再整備を行なわれたが、芽室町農村部には他にも旧保育所が点在している。このことも、考えながら地域との意見交換会が必要と考える。
- 地域集会施設再整備事業は、農村地域から市街地区へと進む中で、コロナ禍の影響による社会情勢の変化などを考えると再度の市街地区住民と協議が必要と考える。委員会での町民との意見交換が必要と考える。

#### 4 新嵐山スカイパーク

区分	内容	
現状認識	エリア別に案内標識が掲げられ、利用者に解りやすくなった	
現状認識	ハンモックフォレスト、ドッグラン、わんぱく広場は整備され好感度である	
現状認識	特にわんぱく広場の遊具は職員が考案し、風倒木などを利用して創作したもので、よくできている	
現状認識	夏休み期間であることから、多くの親子が利用していた	
現状認識	担当課の取り組みとターゲットとしている利用者層について現状が確認できた	
現状認識	コロナ禍の影響による事業内容及びスケジュールの再検討を行ったことは、評価できる	
ソフト	町民及び町外からの来訪者をターゲットとしているが、果たして町民(特に高齢の方)が利用出来る運営となっているか?(レストラン、パークゴルフ場、キッズパーク等)	
ソフト	必要であればオンラインを活用しての勉強会(議会サポーターの先生から公共における民間活力活用の現状や、本町の経営スタイルについてのアドバイスを仰ぐなど)やオンライン視察を実施してはいかがか	
ソフト	子どもたちが、家族と手作りの遊具で楽しんでいる姿を見て、嵐山の魅力の発信者として子どもたちの(子育て世代)存在が、重要だと再認識しました。今後のキッズパーク構想に対しても、何らかの形で子どもたちの意見聴取が必要なのかなと思いました	
ソフト	子供たちが気軽に楽しめる手作りの木製遊具を設置することにより、キャンプエリア利用者及び町民の利用率も向上する。また、「リスの森のお散歩道」は、全世代にわたって楽しめるコースではあるが、散策路での魅力づくりが課題と考えられる	
ソフト	子どもからお年寄りまですべての世代に愛されるスカイパークを目指すことによって、町内・町外からの芽室のファンを創る場所となる	
ハード	指定管理者が進めるキャンプエリアの設置の中、旧キャンプ場の再整備を望む声が多い	
ハード	令和4年度計画において管理棟をレストランへと説明されたが早急に協議が必要	
ハード	建物(宿泊施設)の改築を検討しているようですが、思い切った設備投資を行い、町内外の顧客サービスに努めるべきと考える。現状の施設もいつまでも使用できるわけではない	
ハード	旧キャンプ場も再整備し、トイレ、炊事場を建設し利用者を取り込むことが嵐山スカイパーク事業と相乗効果が生まれる	
ハード	宿泊施設の改修については、担当参事からの説明の通り、本町にはどん	

	な施設が求められるのかの論点整理と、先進自治体の事例調査が必要である	
ハード	自然に囲まれた嵐山の新たな形づくりに町民は期待していると思いますが、反面、今までのイメージを懐かしく思っている町民も多いと思います。既存の施設をどの様に生かしていくのか、大切な課題と思います	
ハード	宿舎施設のリニューアルについては、活用計画のコンセプトに基づき、キャンピングエリアや宿泊のニーズと、ターゲットを考え課題を解決しながら進めることが重要と考える	
ハード	宿泊施設の計画・予算など委員会での討論・調査が必要と考える	